

考 察

全体的にA、Bの肯定的な回答が多かった。特に児童と職員の集計結果を見るとほとんどの項目でA、Bの割合が80%を超えている。しかし、保護者の結果と職員の結果との相違点も見られることから、今後検討していかなければならない課題も見受けられる。

①「めあて」や「まとめ」、「ふりかえり」を大切にした授業」に関わって…

保護者の中でC、Dの数値が比較的高い。特に低学年でその傾向は顕著に表れている。

子ども達が、その授業の中でどんな目標や課題を持ち学習に臨んでいるか、授業が終わった後、自分はどんなことをがんばることができたのか、どんなことを学んだのか実感することは今後も大切にしていきたい。高学年はもちろん、低学年においても、教師が授業のプロセスをしっかり意識した授業作りに努め、子ども達のノートを見たときに保護者にもそのプロセスをわかっていただけるよう努めていきたい。

②「家庭学習（宿題・自主学習）」③「コンピュータの活用」に関わって…

これらの項目は保護者・児童・職員とも肯定的な回答が高い。

これからの時代はコンピュータは必要不可欠なものであるが、コンピュータは使い方を間違えれば、子ども達にとって危険なものにもなり得る。コンピュータをドリルやテストとして活用するだけでなく、コンピュータを活用し多くの情報の中から必要なものを効果的に使えるという力も必要になってくる。保護者にもこういったことを共通理解していただく中で、子ども達を指導していきたい。

④「読書」⑤「運動」に関わって…

「読書」「運動」に小さい頃から親しむことが大切だが、「読書に親しむ」の項目で低い。「文章を読み取る力」も将来的にとっても必要なものだが、今の子ども達にとって活字離れが大きな問題になっている。大人がどれだけ本に親しんでいるかを子ども達に伝えていくことも大切かもしれない。学校でも「読みきかせ活動」「読書週間」を行っているが、本に親しむ環境作りをさらに盛り上げていくため、ご家庭でも家族で読書に親しむといった環境作りを心がけていただきたい。

「運動」に関しては、本校には、運動会で見ていただいたように、リズムカルに元気よく運動に親しめる子が多い。特に低学年の子ども達は80%以上が「運動がとても好き」と回答している。高学年になると、体力差もついてくるが、今後も運動の楽しさに親しませるために、運動に親しむ環境づくりと共に、一人一人が自分に合った目標を設定するなど工夫していきたい。

⑥「あいさつ」に関わって…

保護者、児童、職員とも、A、Bを合わせると70%を超える。特に保護者、児童とも高学年の数値が高い。しかし、保護者の意見の中に「旗振りの方へのあいさつが少ない」というものがあつた。「知らない人には気軽に声をかけてはいけない」という風潮もあるが、校内、自宅近辺ではあいさつがしっかりできているようなので、自分たちのために活動していただいている旗振りの方、地域の安全パトロールの方には積極的にあいさつするよう、学校と家庭でそれぞれ指導していきたい。

⑦⑧「友達関係」に関わって…

これもA、Bを合わせた数値が高い傾向だといえる。今回の調査では職員はあえて「いじめに未然防止」「いじめの早期解決」という2項目にし調査したわけだが、職員のいじめに関する意識は高いと考える。しかし、この結果に安心することなく、子ども達の普段の生活やいじめアンケート等の結果をしっかりとチェックしながら、良好な友達関係が構築できるようサポートしていきたい。

⑨「基本的な生活習慣」⑩「スマホ等の使い方」⑪「保健・生活」に関わって…

この3つの項目はどれもA Bを合わせた数値が80%を超えている。特に、保健に関しての子ども達の意識は高く、Aだけで80%近い数値になっている。基本的な生活習慣に関しては保護者の見方の方がやや厳しいが、それだけ子ども達の成長を大切に考えていることの表れだと考える。いろいろなアプリやゲーム、SNSなどスマホに関わる危惧は今後も続くだろうが、子ども達が健全に、着実に成長していくように努めている保護者の期待に、学校も応えていきたい。

⑫「防災」に関わって…

これは他の項目と比べると保護者のA Bの数値が低く、Cの値が60%近い。学校でも、地震、火事、水災時の避難の仕方について子ども達に指導してきたが、今後、先生が近くにいないとき（休み時間など）の避難訓練を実施し、さらに自分たちで考えて行動できる力、自分で自分を守る力を身につけさせていきたい。ご家庭においても、登下校中等災害に遭ったとき、どのような行動をとったらよいか、どこに避難したらよいかといったことを相談し、子ども達が万が一の時対応できるようにしていただきたい。

⑬「教員」に関わって…

子ども達や職員の意識に比べ、多く寄せられた保護者の「先生に気軽に相談できていないのでは」という見方を、重く受け止めなければならない。子ども達が安心して相談できるよう、窓口は担任だけでなく、学年の先生、養護、教務といったところもあるのだということを引き続き伝えていきたい。同時に、保護者の方も気軽に学校に相談していただきたい。

⑭「学校情報」に関わって…

これもA Bの数値が比較的高い。今年度、「よくわかる東小学校」「東小学校のきまり（改訂版）」「児童の安全を守るための確認」「家庭学習に関するYouTube配信」をはじめ、コロナ関係のおたよりも機に応じて配布してきた。今後も、学校だより、学年だより、ホームページ等をさらに充実させ、学校での子ども達の様子をわかりやすく伝えると同時に、学校と家庭との共通理解を図っていきたい。